

日本産業看護学会 第 10 回学術集会 終了のご挨拶

おかげさまで無事、日本産業看護学会第 10 回学術集会の全プログラムを終了させていただきました。1 年半前に日本産業看護学会理事会ならびに評議員会、総会のご承認をいただき、日本産業看護学会第 10 回学術集会の学術集会長を務めさせていただく運びになりました。既にコロナ禍にありましたので、多くの学会がオンデマンド配信での開催のなか、第 10 回学術集会が開催される時にはなんとか感染が落ち着き、対面で行いたいとの希望をもち、7 名の学術集会理事とともに準備を進めて参りました。しかしながら、開催目前の 9 月末には収まりきらない感染状況により、断腸の思いでオンデマンド配信での開催への変更を決定させていただきました。そして 11 月 15 日から配信を開始し、12 月 24 日までの予定を延長しての 31 日、全プログラム終了とさせていただきました。

第 10 回学術集会開催までには、コロナ禍で先が見通せないなか、今までの学術集会準備では経験しなかった大変さがありました。しかしその大変さゆえ、今、この時でしか経験できない学びがあり、そのなかで皆が力を合わせたからこそその成長があったのではないかと考えています。このような貴重な機会をいただきましたのも、学術集会の顧問、企画委員、実行委員の方々をはじめ、学会理事長、理事の先生方、会員の皆さま方のご支援があったおかげです。今、終了のご挨拶をさせていただきながら、どうにか無事に勤めを果たせたのではないかと安堵しつつ、皆さま方の辛抱強く温かいご支援に心から感謝の気持ちでいっぱいです。

本学術集会は、和洋女子大学の多大なるご協力のなか、テーマを「日本の元気を支える産業看護の力 ～すべての働く人々・組織に産業看護サービスを～」とさせていただき開催いたしました。間口の広いテーマでありましたが、多くの分野、職種の先生方から、今まさに直面している課題への解決に役立つご講演をいただき、参加者の皆さま方に喜んでいただける興味深いプログラムを組み立てることができました。そのため講演数は 27 講演となり、381 名のご参加をいただきました。また一般演題（口演と示説）は 39 演題集まり、オンデマンドのなかでの限られた範囲ではございましたが、発表や講演に対しての質問や討議が行われました。くわえて 14 団体からのご後援や、44 の個人、企業からのご協賛をいただき、学術集会長としても大変に有り難く心から感謝をしております。また当初のオンデマンド配信終了日が近づいてきたとき、参加者の方々から、配信期間延長希望のお申し出が多く、これも我々にとっては嬉しいことでした。これらのことから、本学術集会が、次なるステージにつなぐ第一歩となったことを確信しております。

さらに第 10 回学術集会の開催にあたり新入会員増に寄与できましたことは、学会の今後の発展のために嬉しく思います。

参加者の皆さま方が、この度の学術集会から多くの学びと思い出をお持ちいただき、明日からの研究、看護活動の場に少しでもお役に立てていただきましたら望外の喜びです。

日本産業看護学会第10回学術集会 学術集会長
和洋女子大学看護学部看護学科 新谷 奈苗
副学術集会長
株式会社アクトグループ 島 忍